

いろいろな方々が関わっています

三ツ又沼ビオトープに残された荒川の貴重な自然を守るために、
いろいろな方々が三ツ又沼ビオトープに関わっています。

自然を守る活動/野草の発芽実験の結果発表ほか

埼玉県立いずみ高等学校

1月27日(水)、生物サイエンス科2年生(40名)が雪で倒れてしまった竹林をきれいにするために、竹の切りだしを行いました。

2月25日(木)には、生徒が1年間取り組んだ荒川の草花(フジバカマやメハジキなど)の発芽実験の結果発表がありました。また、「三ツ又沼ビオトープに高校生を呼び込むためにはどうすればよいか」をテーマにワークショップを行い、生徒からいろいろな取り組みが提案されました。



土木学会CPD認定研修を実施

日本ビオトープ管理士会

2月13日(土)、ビオトープの専門家「ビオトープ管理士」など24名を対象に、ビオトープの実地研修が行われました。2班に分かれて、竹林の管理や外来植物のマグワ(中国原産)の伐採のほか、多様な主体との連携の在り方について考えました。この研修プログラムは、土木学会のCPD(継続教育)に認定されました。



竹林の管理を支援

大成建設株式会社 関東支店 協力会

2月21日(日)に有志の皆さん(5名)が環境サポーターや市民団体と一緒に、倒れてしまった竹の除去を行いました。



今年度、三ツ又沼ビオトープの自然を守る活動を実施してくださった皆様

あらかわ市民(サブ)環境サポーターの皆様

市民団体等：上尾の自然を守る教職員の会、上尾ライオンズ、荒川クリーンエイド・フォーラム、荒川の自然を守る会、いきがい愛の会、いきがい大学伊奈学園卒業生、エンハンスネイチャー荒川・江川、川島ネイチャークラブ、教育ルネッサンス、埼玉県生態系保護協会上尾支部、日本ビオトープ管理士会、ボーイスカウト上尾4団、ボーイスカウト上尾9団

学校：川島町立出丸小学校、上尾市立太平中学校、浦和高等学園、埼玉県立いずみ高等学校、学習院大学、大正大学

企業：大成建設(株)関東支店協力会、パタゴニア東京・神田、(株)丸電、(株)武蔵野銀行

皆様、ありがとうございました!

荒川ハンノキプロジェクト & 荒川の草花を育てようプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクトです。荒川の草花を育てようプロジェクトは、外来植物*が増えるのをおさえるために、三ツ又沼ビオトープ周辺にもともと生えていた野草を増やす取り組みです。サポーター事務局では、この取り組みに参加する企業・団体・学校を募集しています。

*外来植物：外国から日本に持ちこまれた植物

川島町立出丸小学校と上尾市立太平中学校 科学部の皆さんが、荒川の自然に関する環境学習を行いました。

課題解決学習 川島町立 出丸小学校 5年生

2月23日(火)、5年生の子どもたちが三ツ又沼ビオトープで体験したことやサポーターの講話から、疑問に思ったことや興味を持ったことを調べ、発表する発表会が開催されました。4班に分かれた子どもたちは、説明の中にクイズを入れるなど工夫して発表していました。



1年間のふりかえり 上尾市立 太平中学校 科学部

3月16日(水)、これまで実施してきた三ツ又沼ビオトープでの活動のふりかえりや、この時期の三ツ又沼ビオトープで見ることのできる生きものについて、サポーターからお話を聞きました。



行ってみよう! やってみよう! 春を探して

春の三ツ又沼ビオトープでは、ライムグリーンに色づくノウルシなど、美しい荒川の自然を楽しむことができます。この美しい自然を守るために、サポーターや学校、団体の皆さんが自然を守る活動をしています。

学校や企業、団体で自然観察会や自然を守るための活動がしたい!という方は、サポーター事務局までご連絡ください。プログラムの提案や運営支援、安全管理など、無償で活動のお手伝いをいたします。



【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のあさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

【環境サポーター大募集!】

自然を守る作業や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集していません(荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録)。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きな方、荒川が好きな方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています!